

目次

- ・これからの作業予定【キャベツ秋作収穫が続く】
- ・2022 年これまでの作付結果
- ・報連相はこうしよう！

Vegeta 新聞

キャベツ秋作収穫がピークに！

販売担当の赤羽さんによると、これからの秋出荷は生協、東洋観光グループ（お好み焼きの徳川など）、フジワントンをメインに、ゼンショウグループや市場へもなるべく出したいとのことでした。特に生協へは 12 月中頃までの期間、日～木曜日に毎日 700 玉を出荷予定。さらに 11 月には 2 回、キャベツの特売日があるため、注文が多く入る可能性があります。コロナの影響で注文数の上下が読めなかったお好み焼きの徳川は、昨年より安定して注文が多くなってきました。また、すき家などへ出荷を行うゼンショウグループへは毎週水曜（月曜収穫）の出荷に加え、キャベツの他に青ネギや大根も出荷しています。



（生協さんに掲載の商品写真）
購入者のレビューでは、いつも甘くておいしいと高評価をいただいています。

報連相はこうしよう！

先日、“報連相”をテーマに、今年 3 回目となる社員研修を行いました。外部講師の中川さんが体験した（株）モルテンでのエピソードはなかなか衝撃的でした。報連相は大切だと思うが、どのようにすれば良いのだろうか…？となった方は、以下の定型文に当てはめてみてはいかがでしょうか。

【報告】「△△の作業は、あと○分（○a）ほどかかりそうです。」

【連絡】憶測を含めず、5W1H を意識して状況を伝える

【相談】「○○したら良いかと思うのですが、△△さんはどう思いますか？」

また、相談しやすい環境を作るために上司は、“おひたし”（怒らない・否定しない・助ける・指示する）を意識し、自分で考えて！ではなく、「どうしたらいいと思う？」「何をしようと思っている？」など確認してはいかがでしょうか。

次回社内会議

（&vegeta 新聞）は 12/1（木）

以後、毎月第一木曜日予定 ※繁忙期以外

2022 年夏の作付け結果は！？

トマト

昨年から栽培を始めた加工用トマトですが、今年は 7 月 11 日から 9 月 16 日までの間で、鉄コンテナ 626 基分を収穫しました。（昨年は 7 月末～8 月 20 日 160 基程度収穫）

面積も 3.5ha（ヘクタール）から今年は 15ha 程度に拡大。

来年も同じくらいの面積で栽培する予定です。高宮の石の多い圃場で機械の故障が相次ぐなどの課題もありましたが、無事収穫を終えることが出来ました。

デントコーン

国内で家畜の飼料が高騰し、地元畜産農家からの要望もあり、今年から飼料用作物の栽培が始まりました。今年の収穫量は 8 月 1 日から 10 月 19 日の間で、ロールが 1595 本でした（持丸収穫継続中）。その後秋作としても、デントコーンとエンバク、また高野町を中心に、キャベツのネコブ病を減らす効果も期待できる、ヘイオーツの栽培も行います。

サツマイモ収穫も旬

高宮、菅田、御領駅圃場に 4ha ほど栽培中のサツマイモの収穫が始まります。収穫前に除草とツル刈りを行いました。収穫は芋掘り機で、その後は地元のヒバ食品（株）が干し芋や冷凍焼き芋に加工し、販売する予定です。